



# 長 迫 の 丘

令和5年10月5日  
長迫小学校通信No.12  
校長 高尾 千草

## 呉海軍墓地合同追悼式「追悼のことば」～立派でした！～

毎年、秋分の日に行われる旧呉海軍墓地合同追悼式で本校児童は「追悼のことば」を述べます。毎年、6年生が総合的な学習の時間での学びをもとに追悼文を考えます。今年は6月30日に戦争体験を話してくださった小林さんの言葉を盛り込み、平和な世界を作っていくため、私たちができることは何かを考え、文章に表しました。地域の方から大きな拍手をいただき、代表児童も達成感を持ったようです。特に、今年は追悼文が書かれた紙を持たずに追悼式に臨みました。原稿を持つと緊張するというのが理由ですが、暗記して臨もうとする児童の意欲に心を打たれました。



## ～追悼のことば～

ここ長迫公園は、私たちの町を象徴する場所です。休山のふもと、雄大にそびえる灰ヶ峰を背にすれば、眼下には呉の町並みが広がり、その先には美しい呉の海を望むことができます。自然に恵まれ、歴史が息づいている長迫の丘が、私たちは好きです。私たち長迫小学校の児童にとって、この長迫公園は、墓地というだけでなく、友達と遊ぶ場であり、地域学習の場であり、6年生にとっては戦争の歴史を学ぶ場でもあります。また、長迫小学校では、月に一度、学年ごとにこの公園の草取りや落ち葉拾いなどの清掃活動を行っています。このように、長迫公園は私たちにとって、とても身近な存在なのです。

私たち6年生は、今、総合的な学習で、「平和」について学んでいます。しかし、終戦から78年もの長い年月が過ぎており、私たちは、戦争がどこか遠くで起こった出来事のように感じられ、なかなか実感をもつことができないまま学習を始めました。呉空襲を体験された地域の方は、私たちに語られました。「呉は、一夜にして焼け野原になり、道路沿いに、長い長い遺体の帯ができていた。」と。調べ学習で見たVTRでは、証言者の方が「子供の遺体の枕元に小さなにぎり飯が供えられていて、『こんなことになるなら、いっぱい食べさせてやればよかった。』と泣き叫んでいる母親がいた。」と語っておられました。際限なく語られる「本当の話」に胸が押しつぶされそうでした。

また、原爆に関する学習もしました。むごたらしい体験談をいくつも読み、原爆投下後に撮られた、まさに地獄のような数々の写真を見ました。しかし、私は被爆前に撮られた、ある写真が心に残りました。それは、水浴びしながら、こちらに嬉しそうに笑いかける幼い子供の写真です。平凡ですが確かな日常があったのです。今を生きている私たちと何も変わりません。そんな日常を一瞬にして無理矢理奪われた方が、何十万といたのです。自分に置き換えると、震えが止まりませんでした。その一人一人の苦痛や無念は、私たちには想像し切れません。

そして、身近なこの公園も、改めて学習の一環で訪れてみれば、船の名前が刻まれた墓碑の裏には、多くの乗組員の名前を見つけることができます。その方々は、どんな思いで戦地に向かったのか、その家族や友人たちは、どんな思いで見送ったのか、想像すると胸が締め付けられます。

一旦戦争が起きると、犠牲になるのは軍人だけではありません。一般市民の命も奪われ、残された家族の人生にも癒えない傷を残し、苦痛を与え続けることが分かりました。ウクライナでの戦争のニュースを見ても、やはりそうです。けれども、なぜ戦争はなくなるのでしょうか。「戦争は絶対にしてはならない。」



これは、学習をすればするほど、これから生きていく私たちに託された、最も大きな宿題だと感じるようになりました。

今、私たちの日常生活は、穏やかです。家族との何気ないおしゃべり、おいしいものを口にする事、時には叱られること、ペットとじゃれ合うこと、友達との登下校、分からない勉強を教え合うこと、好きな歌を歌うこと、些細なことでの言い争い、そして、仲直り、低学年のお世話、修学旅行で絆を深めること…。そんな毎日は、決して当たり前ではなく、かけがえのない幸せなのだ気付かされ、この社会を実現してくれた先輩たちに感謝します。

私に命をつなげてくれた、両親の命。両親に命をつなげてくれた、祖父母の命。さらにそれ以前に無数の命が、私につながっています。もし、戦争でそのつながりが、一つでも途切れていたら、今、私はこの世にはいません。過去の犠牲を無駄にしないためにも、私たちが大事にしなければならないことは、この命を大切に幸せを追い求めることです。国と国とが争わなくてもよい時代を、世界の人々とともに創ることです。そのために、私たちは、国籍や人種、立場や価値観等、自分と違う相手の言うことにも耳を傾け、思いやりをもって接し、理解し合う努力を、決して暴力に頼らず続けられる人間になりたいと思います。そして、戦争を許さない人間になりたいと思います。

未来に責任をもって生きていくことを誓いますとともに、戦争で亡くなられた全ての方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

### 3年生 スーパーマーケットの見学～工夫がいっぱい！～

3年生が社会科の学習で、「ピュアークック長ノ木店」の見学に行きました。スーパーマーケットで働く人の様子やお店の工夫を調べることが目的です。実際に見学することにより、お店の工夫をたくさん見つけることができました。また、店長さんのご厚意で子どもたちの質問にも答えていただきました。

協力して下さった「ピュアークック長ノ木店」の皆様、ありがとうございました。



### 4年生 地域に伝わるお祭り～受け継がれる伝統～

4年生は、社会科で地域の祭りについて学習します。地域の三崎竜行さんに、平原神社のお祭りについてお話をいただきました。呉の祭りで大活躍する「やぶ」は、神様の警護や道案内をしたり、その年の米の出来具合を確認したりする役割があるのだそうです。

これをきっかけに、地域で受け継がれている文化財や年中行事に参加したり、調べてみたりするものもよいですね。



### いじめ・体罰・セクシュアル・ハラスメント等相談窓口

上記の内容や児童の成長についての心配事など、ご遠慮なく相談ください。

長迫小学校相談窓口

長迫小学校 ☎22-3191

《担当者》教頭：加藤 寛

教務主任：小早川崇

生徒指導主事：坊田友会

養護教諭：田熊留美

《相談日》相談はいつでも受け付けます。

《場 所》調べ学習室（西校舎2階）

※中村英美スクール・カウンセラーの相談日は、10月13日（金）の午後です。

